

## 人生百年シナリオ

「生きがいで生きる！」

『葉っぱのフレディ』(レオ・ブスカーリア作 みらいなな訳 童話屋出版)という童話を読まれたことはありますか？その一場面です。秋になり仲間の葉っぱが散ってゆく中、フレディが兄貴分のダニエルに聞きます「ねえ、ダニエル。僕は生まれてきてよかったのだろうか」。するとダニエルは答えます「僕は、春から冬までの間、本当によく働いたしよく遊んだね。人間に木陰を作ったり、秋には鮮やかに紅葉して、みんなの目を楽しませたりもしたよね。それはどんなに楽しく、また意味のあることだろう。意味のある生き方ができた、ということが幸福なんだよ。

百年シナリオを描いていく上で、土台となるのが「健康」、欠かさないのが「生きがい」。

「生きがい」を辞書で引いてみると、「生きる張り合い。生きていてよかったと思えるようなこと。」と書いてあります。生きていてよかったと思えるようなことって何でしょう？美味しいものを食べた、素晴らしい景色を見た、素晴らしい人に出会った、賞賛を

浴びた、目標を達成した…人それぞれ違いはあるかも知れません。

人生百年シナリオセミナーでは、ワークショップ

で「生きがい」について考え、紙に書いていただきます。その中で一番多い答えが「人の役に立つこと」です。もちろん、自分が楽しむ趣味や旅行を書く人も多いのですが、考えて考えて、書いて書いていくと最後にはやはり、「人の役に立っていたい」というところに行き着くようです。

「あなたにとって生きがいとはなんですか？」



キーストーンアライアンスメンバー(大阪)

「人生百年シナリオ」プロデューサー  
～増長院のように生きる～  
井上 弘一 (イノウエ ヒロカズ)

昭和33年生まれ、兵庫県神戸市出身  
「人生のゴールが何歳かとしたら、あなたはどんなシナリオを書くでしょうか？」  
この本を執筆したおことばで質問をいただきました！  
4年勤めからフリーランス(自由業)に。事業・音楽・住まい・法律・  
出版…とやることはありますが、「自分のゴールはどこに置くか？」が  
とても重要と考えます。



## 生きがい・趣味

「お茶を楽しむ」



裏千家での茶道との関わりはかれこれ10年になります。

青年会議所の茶道部への入会がきっかけで、現在横浜淡交会青年部(青年部は50歳で卒業)に所属しております。

茶道のたのしみは、やはりお茶会に来てくれた方々が楽しんでくれることです。テーマを決めてお茶会を催しますが、軸・花・茶碗・お菓子に至るまで、茶会に使われるものすべてが当日のテーマに沿っていることになります。青年部では1年に一回メインの茶会を催しますが、準備は半年前からおこなっています。

また、1年に1回、作り物講座を開催し、お菓子作り・茶約作り・作陶などを行っております。過去の趣向で面白かったものをあげると、サッカーワールドカップ決勝戦が横浜で開催された時の茶会があ

ります。約300人の方々に、いろいろな国の器でお茶を飲んで頂き、とても評判が良かった思い出があります。

また、3年前のお茶会では、モーツァルト生誕250周年記念「魔笛」と題してお茶会を催しました。床には「ピカソのリトグラフ」・水指には「ウエッジウッド」を使ったりと趣向を凝らした甲斐があり、席が終わるたびに、お客様から盛大な拍手が出るほどの盛り上がり様でした。

さて、お茶で一番大切なのは「和敬静寂」という4つの言葉に表れています。お互いに心を開いて仲良くし、お互いに尊敬しあい、心の中が清らかで、ものごとに動じない心を持ちたいものです。

たまには、お茶飲んでみませんか？

キーストーンアライアンスメンバー(東京)

株式会社 ドリーム ゲイツ コンサルティング  
代表取締役 杉山 隆規(スギヤマ・タカヨシ)

昭和33年生まれ、北海道出身  
銀行勤務を経て、1997年「ドリームゲイツ」を設立  
1997年11月より「株式会社ドリームゲイツ」にて専任のプランニング業務  
開始。2002年12月より「株式会社ドリームゲイツ」を代表取締役、経営コンサル  
ティング業務開始。  
ファイナンシャル・サクセス・プランナーと称し、経営者・役員から個人、  
学生までバックアップするといったセッションも提供中。



## 夢・目標の実現のための海外資産運用講座～PTMC理論～

PTMCとは、「複数通貨および多重国居住による移動可能な職業」(Portable Occupation Theory with Multi-Currency and Cross-Border Scheme)の頭文字を取った形であり、日々変動する世の中を生きていく我々に必要な「幸せな、ライフスタイルの実現や生き方をとする為の知恵」です。PTMCを達成する方法を、GGLでは会員の皆様と共に学びながら、実践しています。



### ポータブル・オキュベーションの具体例

携帯職業、独立自由業の意「ポータブル・オキュベーション」簡単に言うと世界中どこにいても収入を得る事が出来るようにする事です。その具体例の中でも、誰にでも実現可能なものを挙げてみましょう。

- 『年金受給』** 一定期間以上、勤続し年金・保険料を納め続けてさえいれば、誰にでも可能です。  
《注意点》将来の少子高齢化や年金未納者の増加などの問題により、受給額の減少や、年金制度の仕組み自体が根底から崩れてしまう恐れもあります。
- 『賃貸収入』** アパートやマンション・不動産を購入し賃貸物件として、居住者から毎月の家賃収入を得る事や、自己所有の土地を駐車場などで貸し出し、賃貸収入を得る事。  
《注意点》建物の場合は、老朽化する毎にリフォームが必要であったり、空きが出れば次の居住者を探さなければならなかったりと意外と維持費や手間がかかる事もしばしばあり、投資効率があまり良くない場合もあります。
- 『株式配当』** 株式の中で、一定期間毎に株主に対して株主配当として、配当金が出る株式の購入。  
《注意点》その会社の業績によっては、配当が出ない年があったり、業績悪化などの理由により株式の価値が下がる事による資産の目減り、最悪会社が破綻し、株券が紙くずと化してしまう可能性もあります。
- 『投資信託』** 個別銘柄を所有するのではなく、ファンドマネージャーが運用・管理する投資信託を活用する方法。毎日の値動きを気にする必要もありませんし、「売った」「買った」で利益を求める投機とは違います。  
《注意点》当然世の中の情勢や市場の動きに伴い、ファンド価格の下落による目減りも考えられます。株式型・債券型・不動産型というに分散しておけば、資産を目減りさせる危険性を抑える事も可能です。リスクとリターンを吟味して、自分の理想に近いものを選ぶ必要があります。

誰にでも目指せるポータブル・オキュベーションは、自分の資産を上手く活用し、運用させる事と言えます。その為には、まずは、しっかりと自分の目指す先・目標を定め、ライフプラン計画を作成した上で、**何に投資するか？**を決めて、あとはそれを計画通りに進めていく事が重要となります。「いつかそのうち・・・」「必要になったら・・・」ではいけません。資産運用は、時間を味方につければ、損をするリスクを抑える事が出来ます。まず、情報を収集する、そして勉強する事。これが一番大事な事なのではないでしょうか。

## ■ ナマの海外情報 視察ツアーレポート&ロングステイ情報

### ■ 米国FP事情視察記

10月9日から16日の約1週間、米国のファイナンシャルプランナー(以下、FP)のビジネス状況の視察に、FP10人ほどで行ってきました。滞在期間中の前半は、FPAという、FPの業界団体の年次総会に出席。後半は、実際に営業しているFPのオフィスを3社ビックアップして訪問しました。ロサンゼルス国際空港から車で1時間ほどでアナハイムのコンベンションセンターです。

年次総会自体は、1,000人ほどの規模でした。なんでも昨年と比べると景気の影響でずいぶん規模が縮小したそうです。総会の内容も、世界的な株価の下落による打撃から立ち直って頑張ろう!という色彩が強いものでした。株価が下がれば世間でパニック売りになり、上がってくれば乗り遅れてはいけなさと高値掴みをする、これが恐ろしいかな典型的な投資家心理です。(そしてこのスタイルではまず間違いない儲けることができます。)投資先迷宮である米国でもやはり大勢はそうで、株価が下がると顧客からの売りの指示が増えて預かり資産が縮小してしまうので、FPも苦しくなってきたというのが近況のようです。

しかしオバマ政権が登場し、株価もやや持ち直してきたこともあり、今後は明るい光が見えてきたという趣旨の発言も多かったです。論調を聴い

ていて興味深かったのは、オバマの民主党政権が進めようとしている国民皆保険制度に対する懸念の反応です。米国経済にとっての重大な脅威であるという意見の方が多いですね。

さて、小ぶりの総会のよいところは、各種パーティ・分科会などで何度も顔を合わせることで、出席者同士仲良くなりやすいことです。今後海外ロングステイなどで縁が深まりそうな先、フィリピンやハワイなどのFPと知り合うことが出来ました。現地に知り合いがいると何かと心強いものです。

後半はFPのオフィスを表敬訪問です。3社ともしっかりと顧客との信頼関係を築いており、経営は健全のようでした。インタビューをしていて最も興味深かったのは、代表であるファイナンシャルアドバイザー 3人の前職です。2人が生命保険の販売職、1人が投資信託の販売職。つまり、僕ら(キーストーンアライアンスメンバー)の前身の仕事とほぼ同じということ。

ということは、現在の彼らは僕らの未来形ということなのでしょうが、学びの多い旅でした。

キーストーンアライアンス副代表  
大坪 勇二

### ■ 海外での体験は得がたい人生の資産になります!



およそ1,000人が集まったFPAの年次総会。日本からはおよそ20名が参加しました。



FPAビジネス女性ズグッツの販促コーナー。教育プログラムが人気で盛況かったです。



アドバイザー 1人+スタッフ3名の中堅規模のFPオフィス。顧客の一人とお話ししました。



アドバイザー 3名+スタッフ10名の大規模オフィスを訪問しました。



もう半分引道モードで、週3日だけゆっくり働いているアドバイザー1人だけのオフィス。

# FP的視点で人生設計を考える

日本航空の企業年金削減問題について考える

今回のコーナーでは、今世間で話題になっている日本航空再建に関わるOB及び現役社員の企業年金削減問題について考えてみたいと思います。右下の図は、日本航空の企業年金のしくみと、会社側が日航OBに対して提示した削減案を表したものです。みなさんはこの図を見て、どのような感想をお持ちでしょうか？

かつては日本の翼と呼ばれ、国を代表する大企業ならではの手厚い退職金制度とらやむ反面、今のご時勢に運用利回り4.5%を確保する確定給付型の年金制度が馴染むのか。ましてや今の日航の企業実態から言って、公的資金(つまりは税金)を投入してまで国として日航を援助すべきなのか？この問いに対しては、立場によって意見がわかるところかも知れません。日航経営陣からすれば、自らの経営責任を感じつつも、国策として運行を強いられてきた赤字路線への負担のつげがここに来て重くのしかかっていることに、物申したい気持ちもあるでしょう。また国民感情としては、ただでさえ国庫財政の厳しい折、「一企業の企業年金の積み立て不足の肩代わりに公的資金をつぎ込むべきではない」という思いも当然あるでしょう。

さて、問題は日航OBや現役社員の立場の方々。既定の制度として「貰えるもの」と思っていた年金を、会社側の理不尽な申し出があったからといって、それをすんなり受け入れることが出来るかどうか。しかし、この構図を日航＝日本国、日航OB及び現役社員＝日本国民と置き換えてみたらどうでしょう？年始早々不謹慎な話と思われるかも知れませんが、10年前に国民のうち何人が今の日航の姿を予想したでしょう。逆に10年以内に日本が絶対に財政危機に陥ることはないと言言できる人はどれくらいいるのでしょうか？そんなことが起こるかどうかを論じることはともかくとして、少なくとも有事に備え、「自分の身は自分で守る」という万全の準備が必要な時代になってきていることは、間違いないように思います。

波乱の時代をどう生きるか？今年一年、ひとりひとりの生き方が試される年なのかも知れません。

日本航空の企業年金のしくみ



出典：フクフクファイナンシャルプランニング

## キーストーンアライアンスメンバー紹介 ~福岡編~

北海道から沖縄まで、全国で活動しているアライアンスメンバー。個性溢れた独自の展開を行っているメンバーが毎月続々登場です。

### 今月のメンバーピックアップ

#### キーストーンコンサルティング株式会社 代表取締役 廣谷 信幸



中央が廣谷

理念・信念・モットー  
幸せな生き方を伝えていくこと。

#### メッセージ

幸せな人生を送るには、3つ必要だと考えます。①健康 ②仲の良い家族・仲間 生きがい ③お金 この3つのバランスをうまくとりながら、幸せな楽しい人生を謳歌し、そして社会に貢献する。百歳まで生き、最後はPPK(ピンピンコロリ)で天寿を全うする。この様な生き方を理想とし、ご縁をいただいたクライアントの方と共に歩んで、実践していきたいと思っています。

#### Q1：最近感動したこと

お恥ずかしい話ですが、2009年10月の香港・マカオの金融圏視察の際、マカオでパスポートを失くしてしまいました。マカオには日本領事館がなく、おまけにこの日は土曜日。警察に駆け込んでどうにかこうにか日曜日までを過ごし、月曜日は早朝からマカオのイミグレーションセンターへ、10本全部の指紋を指の根元まで採られ、写真も3枚ほど撮られ、1時間ほど待つて書類を受け取り、ようやく香港へ。しかし、香港入国の際にも1時間待たされ、写真も撮られ、その後「お前は誰だ」の質問責め…。ようやく入国を許され、香港の日本領事館へ泊り着き、福岡に戻ったのは火曜日でした。土日の休日にもかかわらず、携帯電話で「全面的に支援しますから」と連絡をいただいた香港の日本領事館の山崎領事さんには、本当に感謝です。そして、多くの方々に支えていただいたことに感動しました。

#### Q2：自慢の能力

マカオでパスポートを失くしてから4日目を(元気に、明るく、前向きに)過ごすことが出来たこと。

#### Q3：旅の教訓

現金とクレジットカードは別に持っていたのが助かりました。【おは1つの痛に感るな】という分散投資をすすめる格言がありますが、骨身に沁みました。



定期的にセミナーを開催しています

〒802-0001  
福岡県北九州市小倉北区浅野1-2-39 2F  
キーストーンコンサルティング株式会社  
TEL：093-551-6325  
FAX：093-551-6326  
E-mail info@keystone-c.net  
URL http://www.keystone-c.net/

## キーストーン百年シナリオ通信発行元

株式会社キーストーンFPコンサルティング  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-9-7 いずみビル5F  
発行責任者 石野 毅

TEL ☎0120-140-439 FAX ☎0120-707-139  
E-mail info@kanameishi.com URL http://www.kanameishi.com

あなた様からのお問い合わせやご意見・ご感想お待ちしております。  
通信用封筒、E-mail、FAXをご利用ください。